令和７(2025)年度

飯田市当初予算（案）の概要

長野県飯田市

目　　次

1　令和7(2025)年度当初予算のポイント　・・・　1～3

1. 誇りと愛着を持てるまちづくり　・・・　4～5
2. 安心して暮らせるまちづくり(災害への備え)　・・・　6～7
3. 環境を軸とした産業の活性化　・・・　8～9
4. 飯田(ここ)で育ってよかった・育ててよかったと実感できるまちづくり　・・・ 10～11
5. 誰もが健康で活き活きと暮らすまちの実現　・・・ 12～13
6. 未来に向けた基盤整備　・・・ 14～15

2　戦略計画における基本目標ごとの主な事業

基本目標1　市民が将来にわたり地域に誇りと愛着を持てるまちをつくる　・・・ 16～17
基本目標2　人がつながり助け合い、社会基盤を強化して安全・安心なまちをつくる　・・・ 18～19
基本目標3　飯田(ここ)で育ってよかった・育ててよかったと実感できるまちをつくる　・・・ 19～21
基本目標4　自然と共に歩む豊かな循環型社会をつくる　・・・ 21～22
基本目標5　誰もが多様な働き方で活躍でき、次世代につながる魅力ある産業をつくる　・・・ 22～23
基本目標6　誰もが生涯を通じてその人らしく暮らすまちをつくる　・・・ 23～25
基本目標7　リニア・三遠南信道時代に向けたまちの基盤をつくる　・・・　25

3　一般会計・各会計歳入歳出予算

令和7(2025)年度一般会計　予算額　・・・　26
令和7(2025)年度飯田市各会計予算の総額　・・・　27
令和7(2025)年度一般会計　歳入　・・・　28
令和7(2025)年度一般会計　目的別歳出　・・・　29
令和7(2025)年度一般会計　性質別歳出　・・・　30

4　地方債残高の推移　・・・　31

5　基金残高の推移　・・・　32

Ⅰ　令和７(2025)年度当初予算のポイント

【地域への誇りと愛着を高め、『環境』を軸とした活力あるまちをつくる】

～ いいだ未来デザイン 2028 の総仕上げに向け礎を築く ～

令和７年度は、「いいだ未来デザイン 2028」後期４年間の初年度に当たり、計画の総仕上げに向け礎を築く年となります。未来デザインに掲げる「８つのまちの姿」の実現に向け、地域への誇りと愛着を持てる「日本一住みたいまち」や環境を軸とした産業の活性化による「ゼロカーボンシティ」の実現に資する取組の推進など「令和７年度予算編成の基本方針」に基づき、後期４年間のスタートとなる予算を編成しました。

令和７年度当初予算のポイント

【誇りと愛着を持てるまちづくり】

○市内 20 地区の基本構想･基本計画の推進に向け、**各地区の将来を検証する人口診断分析**や様々な組織・団体のつながりを示す「地域関係相関図」をまとめ、長期的な地域人口安定化への取組を進めます。

○「楽しそう！面白そう！」を入口に、誰もが身近で参加しやすく、一人ひとりが地域での役割を実感できるような**「みんなの楽しい」をつくる公民館活動の展開**と、**活動の楽しさや魅力を伝える情報発信の強化**を図ります。

【安心して暮らせるまちづくり（災害への備え）】

○各地区の防災計画の見直しや防災訓練に生かすため、**市内 20 地区ごとの「地震被害想定調査」**を進めるとともに**「個別避難計画」の作成・更新**の取組を通して、顔の見える関係づくりと助け合いによる地域防災力の強化を図ります。

○建物内の安全性を高めるための**耐震シェルター・耐震ベッドの設置の助成**や、防災アプリを活用した**「わが家の避難計画づくり」の推奨**などにより、防災の基本となる自助を支え、市民一人ひとりの防災意識の向上につなげます。

【環境を軸とした産業の活性化】

○当地域で展開される**信州大学の水循環・グリーン水素関係の研究の推進**と**社会実装に向けた実証タウンの形成**に取り組むとともに、様々な分野における水素の活用の可能性や効果を調査し、**水素を利活用する社会の実現に向けた計画づくり**を進めます。

○森林の CO_2 吸収機能に明確な価値を付け森林資源の活用を促進するため、上村しらびそ高原付近において**「しらびそ高原星空保護区森林保全プロジェクト（仮称）」**として**Ｊ－クレジット制度への登録、認証等**を目指します。

【飯田（ここ）で育ってよかった・育ててよかったと実感できるまちづくり】

○雨の日や猛暑等の気候変動に対応するため、**かざこし子どもの森公園等の各種施設に空調設備を整備**するとともに、長期休暇期間中の児童の居場所として**預かり事業を実施する保育所等の支援**や**放課後児童クラブ等の児童受け入れ態勢の充実**を図ります。

○就学に向けて適切な支援や相談につなげる**５歳児相談事業の拡充**や、**教育支援指導主事・校内中間教室支援員の増員**等により、発達特性や不登校傾向など困難を抱える児童・生徒に寄り添った支援を強化します。

○義務教育９年間の学びの系統性と連続性を高め、地域の特色を生かした学びを通して、児童生徒が生涯にわたって主体的に他者と協働しながら生き抜く力の基礎を育む**「飯田学園構想」**を推進します。

【未来に向けた基盤整備】

○リニア・三遠南信道時代を見据え、「リニアの整備効果を地域振興に活かすビジョン（案）」の見直しに併せ、**リニア時代のまちの姿として「まちの設計図」**を示します。

○リニア中央新幹線の開業時期の延期を受け、リニア駅整備事業は、リニア本線沿いの工事を回避しながら、**2028 年度中に予定する一部供用開始に向けた整備**を推進します。

○**飯田山本インター産業団地（仮称）**の整備を進めるとともに、信州の南の玄関口となる**「道の駅遠山郷」**や飯田の歴史的価値を発信する**「恒川官衙遺跡ガイダンス施設」**など、地域振興の拠点となる施設の整備を進めます。

予算規模

～ 一般会計の予算規模は、過去最高を更新 ～

○ 一般会計	560 億 7,000 万円（前年度比＋4.5%	…令和６年度 536 億 7,000 万円）
○ 特別会計	509 億 9,210 万円（前年度比＋0.9%	…令和６年度 505 億 1,680 万円）
○ 全 会 計	1,070 億 6,210 万円（前年度比＋2.8%	…令和６年度 1,041 億 8,680 万円）

令和７年度の一般会計当初予算は、前年度の予算規模を上回り過去最高を更新しました。

飯田山本インター産業団地（仮称）に係る物件補償や上郷小学校の長寿命化改修工事（２期目）等の大規模な建設工事に係る予算を計上したことや、定額減税に伴う令和６年所得確定後の追加給付金、制度改正に伴う児童手当の増、更には、昨今の物価や人件費の上昇に連動した各種物件費の高騰なども予算規模増大の要因となっています。

いいだ未来デザイン 2028 後期４年間は、今後控える大規模投資に向け、財政的・人的な基盤を構築する重要な期間です。物価高や人件費の上昇、社会保障関係費の増加、公共施設の老朽化対策などの課題に対応しながら、限られた資源の中で必要な投資を行いつつ、既存施設やインフラなどを安全・安心・快適に活用していく長寿命化の取組との両側面から健全な行財政運営に努めていきます。

【地域への誇りと愛着を高め、『環境』を軸とした活力あるまちをつくる】

1. 誇りと愛着を持てるまちづくり

- 住み続けたい地域を考える（20地区田舎へ還ろう戦略）
- 「みんなの楽しい」をつくる公民館活動
- 「地域の資源」の見える化・ブランド化
- 中山間地域との協働による振興事業の推進
- UIターンの推進・関係人口の創出・拡大

2. 安心して暮らせるまちづくり（災害への備え）

- 地域防災力の強化とそれらを支える公助の取組の推進
- 松尾地区の内水排除対策の強化（固定式ポンプの追加設置等）
- 社会インフラの長寿命化と安全対策
- 計画に基づく準用河川の適正な維持管理

3. 環境を軸とした産業の活性化

- 産学官連携による水循環・グリーン水素研究と社会実装
- 環境に配慮した産業の展開
- 気候変動対策を担う人材の育成
- 「オーガニックビレッジ宣言」の取組推進
- 二次交通によるエコ登山の推進
- 地域産業を支える人材の確保に向けた取組
- 多様な働き方の実現に向けた取組（自営型テレワーカー養成講座）

4. 飯田（ここ）で育ってよかった・育ててよかったと実感できるまちづくり

- こどもの居場所づくり
- 産前産後サポートの拡充
- 発達特性のあるこどもや困難を抱えるこどもへの支援
- 飯田学園構想の展開
- 学校部活動の地域クラブ活動への移行の推進

5. 誰もが健康で活き活きと暮らすまちの実現

- 妊婦歯科健診・歯っぴー歯科健診への支援
- 帯状疱疹ワクチン接種への助成
- 高齢者の補聴器購入への支援
- 地域包括支援センターの運営と生活支援コーディネーターの設置
- 健康ポイント事業
- 介護人材確保の取組

6. 未来に向けた基盤整備

- リニア駅周辺整備
- リニア・三遠南信道時代を見据えた各種土地利用計画の見直し
- 国県道整備に関連する市道整備
- 企業誘致に向けた新たな産業用地の整備
- 地域振興の拠点となる施設整備

1　誇りと愛着を持てるまちづくり

1　【拡充】住み続けたい地域を考える（20地区田舎へ還ろう戦略）　５０５万円

市内全20地区で策定されている基本構想・基本計画の推進に向け、長期的な地域人口安定化への取組を進めます。

- 「田園回帰1%戦略」を提唱する 藤山 浩 氏（一般社団法人 持続可能な地域社会総合研究所 所長）をコーディネーターに、自分たちの地区の現状を知り、将来どうなるか検証する「人口診断分析」や、各地区の様々な組織・団体のつながりを「地域関係相関図」でまとめます。
- 人口診断分析の結果や地域関係相関図を活用し、各地区の実情に応じて、人口安定化に向けた移住定住推進戦略の取組を検討し、移住希望者が住んでみたい、そしてこの地域の皆さんが住み続けたい地域となるための目標を、地域と行政で共有します。

（地域自治振興課【内5433】）

2　【拡充】「みんなの楽しい」をつくる公民館活動　２，０４２万円

「楽しそう！面白そう！」を入口に、地域への願いや関心事を学びを通じて仲間と共有し、実現に取り組むことで、達成感や楽しさ、地域での役割を実感できるよう公民館活動を実施します。

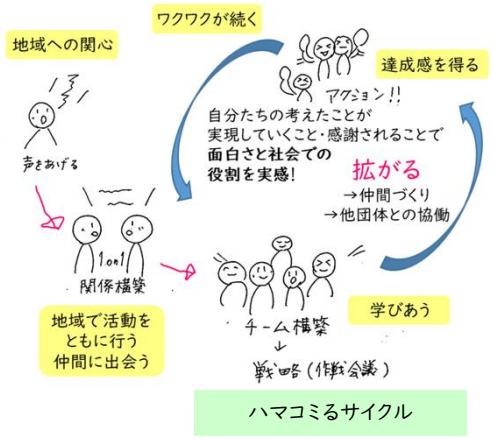
日常生活のなかに「みんなの楽しい」を生み出すことで、住民同士の良好な関係性を育み、暮らしを営んでいる場（地域）をみんなで考えあい、未来へ紡いでいけるよう支援します。

対話の場づくり
- 公民館活動の楽しさや魅力を伝える情報発信の強化
- 様々な場面で住民が集い対話する場をつくり、つながりを育む

つながりや共感を大切にした学びの充実
- 私の願いや関心事が、私たちの実現したいこととなり、ハマコミるサイクルが展開される学習活動の実施

※ハマコミる＝地域や活動にハマってコミットする・コミュニティが拡がる

次代を担う中高生や若者を主体とした学びの展開
- 地域とのつながりや実践を意識した高校生講座の展開
- 中高生や若者が、地域でやりたいこと実現したいことを支援



（市公民館【内4210】）

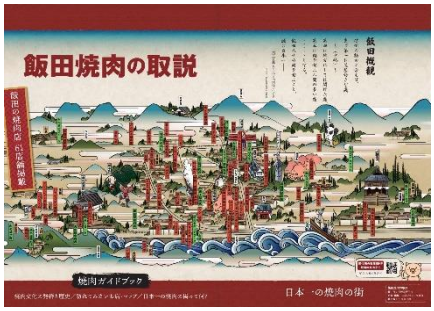
3　【新規・継続】「地域の資源」の見える化・ブランド化　２，８７２万円

「日本一住みたいまち」の実現に向け、この地域の持つ資源をブランド化し「地域の価値」と捉え、地域内外に発信することで市民の皆さんの地域に対する誇りと愛着を育みます。

共感を生む情報発信（魅力の発掘）　723万円

飯田の魅力が多くの市民に共有され、共感を得られるよう、市民一人ひとりが誇りや愛着を感じているモノ・コトを“キミの好きないいだ（仮称）”としてＳＮＳを活用して収集・発信し、地域外の方からも共感が得られるような取り組みを実施します。

飯田焼肉・飯田水引をはじめ、飯田のブランド力の向上につながる取り組みを支援するとともに、市民や事業者と「ＰＲ動画コンテスト」など協働による情報発信を行います。



（広報ブランド推進課【内2320】）

大学連携（外の知）による新たな価値の創造（資源の見える化）　2,124万円

全国から学輪IIDAに集う大学研究者等の「外の知」と地域で育まれ蓄積されている「内の知」の交流、対話を促進し、飯田の新たな価値を生み出していく環境を整備します。

地域の価値を捉える視点・視座を学ぶ機会を日常的に開催

- 次世代の地域の担い手を育み、還流人口を生む高大連携フィールドスタディ
- 高校生の学びに研究者や大学生が通年で関わる「高校生インタースクール」
- 市民が研究者と共に学び、知的好奇心を育む飯田学輪大学講座の通年開催

多様な主体が集い、つながり、活動する大学連携の拠点づくり

- 内外の「知」が集結し交流する、飯田学輪大学オープンキャンパス
- 研究者と市民を接続し、知恵袋化していく拠点となる本棚設置と講座開催

しらびそ高原地域の星空

しらびそ高原地域を星空保護区に（資源のブランド化）　25万円

しらびそ高原地域をダークスカイ・インターナショナルが認定する「星空保護区」とするため、認定に向けた調査研究を行います。当たり前の風景が外の知により特別なものと認められることで、皆さんの誇りと愛着の醸成につながる地域資源のブランド化を目指します。

※星空保護区…光害の影響のない、暗い自然の夜空を保護・保存するための優れた取り組みを称える制度です。

（大学誘致連携推進室【内2250】遠山郷観光振興室【内4415】）

4　【継続】中山間地域との協働による振興事業の推進　6，162万円

地域資源を活用した起業家の育成支援「農村起業家育成スクール」の開催

- 実現可能なビジネスプランの構築に向けた支援
- ビジネスモデル発表による地域の魅力発信と横展開
- 今までの受講生や地域とのつながりサポート

地域おこし協力隊による地域の魅力発信と課題解決に向けた取組の支援

- 地域が主体となって取り組む課題解決に向けた取組への支援
- 地域の魅力発信による交流人口の拡大と関係人口の創出
- 地域と地域おこし協力隊の連携及び横展開に向けた包括的なサポート

地域との協働による関係人口づくり

（結いターン移住定住推進課【内5441】）

5　【継続】UIターンの推進・関係人口の創出・拡大　2，806万円

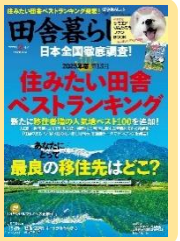
オンラインセミナー、マッチングシステム等の活用による情報発信力の強化

- オンラインセミナーにおける「人（地元住民、先輩移住者）」の魅力紹介
- 移住者紹介リーフレット「私の移住物語（いいだのもり）」による情報発信
- 移住コンシェルジュによる地域紹介、つながり支援
- マッチングシステムによる戦略的なターゲティング

「学び」の機会提供を通じた関係人口の創出・拡大とワンストップ窓口体制による相談支援

- 関係人口創出イベント
  「エアビースクール」「里山LIFEアカデミー」の開催
- 民間連携（Airbnb、JR東海等）による地域資源活用事業と
  地域とのつながり支援
- 仕事と暮らしのお試し体験（結いターンシップ）
- 移住コンシェルジュ、地域住民との連携による包括的なサポート
- 継続相談における地域情報「ゆいだより」の提供

田舎暮らしの本
2025年版住みたい田舎ベストランキング2025
若者世代・単身者部門
★第1位★
※人口5万人以上10万人未満のまち
宝島社「田舎暮らしの本」2025年2月号



（結いターン移住定住推進課【内5443】）

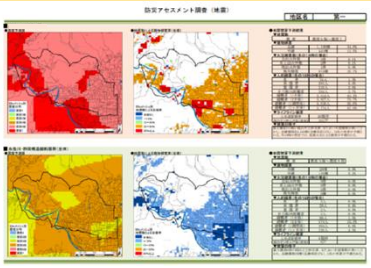
2　安心して暮らせるまちづくり（災害への備え）

1　【新規・拡充】地域防災力の強化と それらを支える公助の取組の推進　４，０６５万円

市内の防災対策をはじめ各地区の状況に合わせた地区防災計画の見直しや訓練に生かすため、市内20地区ごとの地震被害想定調査を進めるほか、個別避難計画の作成・更新の推進等を通して、顔の見える関係づくりと助け合いによる地域防災力の強化に取り組みます。

また、住宅の耐震化施策の充実、防災アプリを活用した「わが家の避難計画づくり」の推奨により、自分自身や家族を守る意識の向上を図るほか、迅速に避難ができない方への支援など、防災の基本となる自助を支える施策を進め、市民一人ひとりの防災意識の向上につなげます。

【継続】地震被害想定の調査（防災アセスメント調査）　990万円



令和６～７年度の２年間で市内20地区ごとの地震被害想定を調査し、その結果をもとに防災対策や自主防災組織が実施する訓練等に生かしていきます。

（危機管理課【内2440】）

【継続】個別避難計画の作成・更新の推進　1,242万円

災害時の避難行動要支援者に対して、避難支援が迅速に行われ、被害を最小限に抑えるために個別避難計画を作成します。日頃から避難行動要支援者の心身の状況や生活実態を把握している福祉専門職（ケアマネジャー、相談支援専門員）と協力しながら、本人や家族、地域と連携して、計画の作成・更新を進めます。

（福祉課【内5710】）

【新規】 耐震シェルター等の設置支援　100万円

木造住宅の無料耐震診断・耐震改修工事を促進するほか、建物内の安全性を高めるため、個別避難計画作成者のうち、迅速に避難ができない方に対して設備設置の助成を行います。

助成額：上限20万円（補助率1/2）

（危機管理課【内2440】）

【新規】遠山地域における防災備蓄品の整備　933万円

「道の駅遠山郷」を遠山地域の防災拠点と位置づけ、再整備に合わせ新たに設置する防災倉庫に遠山地域の孤立や観光客の避難等を想定した備蓄品を整備します。

（危機管理課【内2440】）

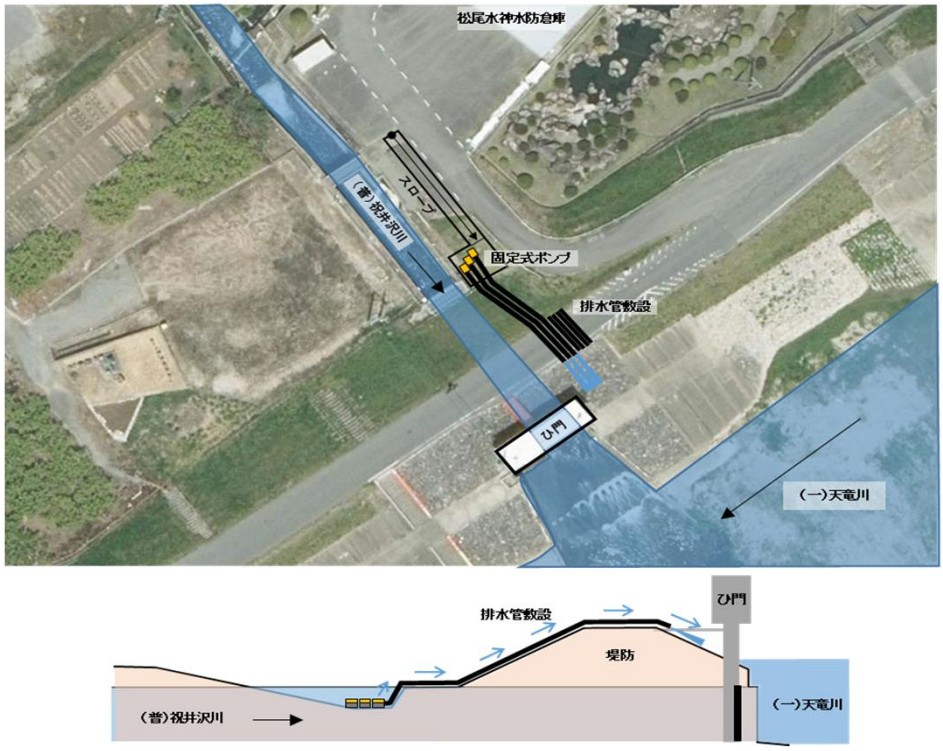
【拡充】自主防災組織に対する支援の拡充　800万円

井戸水利用のための資機材を助成対象に加えるなど、自主防災組織の防災資機材整備に対する助成の充実を図ります。また、各地区の防災訓練等がより実践的になるよう支援します。

（危機管理課【内2440】）

２　【継続】松尾地区の内水排除対策の強化（固定式ポンプの追加設置等）２億８１０万円

内水排除の際の安全性・操作性等の向上のため、令和６年度の金色洞川固定式ポンプの設置に引き続き、金色洞川遊水地の整備と祝井沢川固定式ポンプの設置を行います。



（地域計画課【内3770】）

３　【継続】社会インフラの長寿命化と安全対策　１億４，６８６万円

令和７年１月に埼玉県八潮市において、下水道管の破損に起因すると考えられる道路陥没事故が発生しました。

下水道管については、下水道事業ストックマネジメント計画や下水道総合地震対策計画に基づく管路施設の保守・点検・調査・診断を計画的に実施し、必要な更新や修繕を行います。

また、道路陥没事故を未然に防ぐため、飯田市指定緊急輸送路等を対象に、路面下空洞調査を引き続き計画的に実施します。

路面下空洞調査の様子

（下水道課【内2280】・維持管理課【内2730】）

４　【拡充】計画に基づく準用河川の適正な維持管理　１億５，３７０万円

近年、頻発に発生する局地的な豪雨や線状降水帯の停滞による長時間の豪雨、巨大台風の襲来などによる土石流や浸水被害が相次いでいます。河川の氾濫や護岸の破損等による水害の防止又は軽減を図るため、経年劣化による河川施設の老朽化や破損等による施設機能の低下の対策が必要となっています。

そのため令和６年度に策定予定の準用河川改修・維持管理計画（案）に基づき、準用河川の計画的な改修を行うなど、適正な維持管理に取り組みます。

崩落した河川護岸

（土木課【内2720】）

3　環境を軸とした産業の活性化

1　【新規・拡充】産学官連携による水循環・グリーン水素研究と社会実装　７００万円

南信州地域で展開される信州大学の水循環・グリーン水素関係の研究の推進と、社会実装に向けた実証タウンの形成に、信州大学、長野県、地域、企業等と連携して取り組むとともに、様々な分野における水素の熱源や電源への代替の可能性や、環境・経済分野での効果や影響について調査し、域産域消の水素エネルギーを有効に活用する社会の実現に向けた計画づくりを進めます。

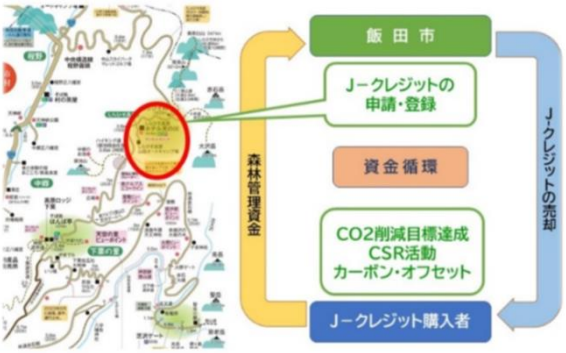
光触媒水素パネル（東大試験施設）

（ゼロカーボンシティ推進課【内5480】・工業課【内4433】・大学誘致連携推進室【内2250】）

2　【新規】環境に配慮した産業の展開　８，０６０万円

J-クレジット制度による森林資源活用　993万円

森林のCO_2の吸収機能に明確な価値を付けることにより、飯田市の豊富な森林資源を新たな観点から活用を促進するため、上村しらびそ高原付近の市有林において「しらびそ高原星空保護区森林保全プログラム（仮称）」として、J-クレジット制度への登録、認証、クレジット発行、売却開始を目指して取り組みを進めます。



（林務課【内4860】）

エネルギーコスト削減による中小企業支援　7,067万円

エネルギーコストの高騰に直面する事業者に対し、エネルギーコストとCO_2排出量の「見える化」や削減目標の設定、削減策提案等の支援を行います。あわせて、事業活動に係るエネルギーコストの削減のため、省エネ効果の高い設備への更新や太陽光発電設備等の導入を支援することにより、脱炭素経営を推進し、産業競争力の強化を図ります。

（ゼロカーボンシティ推進課【内5480】）

3　【新規】気候変動対策を担う人材の育成　２４９万円

小中学校へ気候変動教育プログラムを導入し、地域脱炭素の将来を担う人材育成を図るとともに、児童、生徒の学びを家庭と共有し、地域、事業者へも展開することで、気候変動対策への取組の環を広げます。

気候変動若者会議では、10代から30代の若者が主体となり、地域の気候変動対策について議論します。持続可能なまちづくりに対する新たな視点や具体的な提案を目指して、学習や意見交換を行い、地域の未来を共に創ります。

（ゼロカーボンシティ推進課【内5480】）

４　【新規・継続】「オーガニックビレッジ宣言」の取組推進　５７４万円

有機農業をはじめとする「環境に配慮した農業」を、農業者の皆さん、市民の皆さんと力を合わせて推進していきます。

【継続】「飯田市環境に配慮した農産物地域相互認証制度」普及・推進　112万円

令和6年3月から市独自の「農産物地域相互認証制度」の運用を開始し、１１件、１１８品目が認定されており、認定した食材は、市内小中学校の給食への導入が始まっています。市民の皆さんにも購入していただけるよう、認証マークによる周知や認証農産物の特設コーナーの設置を進めていきます。

【継続】学校給食・保育園給食への有機農産物導入　422万円

市内小中学校や公立園の給食への有機農産物の本格導入を目指し、有機農産物の生産と流通の仕組み作りを進めます。あわせて園児・児童や生徒の皆さんに、環境に配慮した農産物への理解の醸成に向けて食育を推進します。

【新規】有機農産物等の生産者に対する支援　40万円

環境に配慮した農業を推進するため、当市の「農産物地域相互認証」の取得者が、「有機JAS認証」や「信州の環境にやさしい農産物認証」へチャレンジする際の取得経費の一部を支援します。

また、化学肥料の使用量削減のため、有機肥料として土壌環境の改善や土壌病害の発生抑制などに効果がある緑肥の導入費用の一部を支援し、利用を促進します。

（農業課【内4812】）

５　【拡充】二次交通によるエコ登山の推進　１００万円

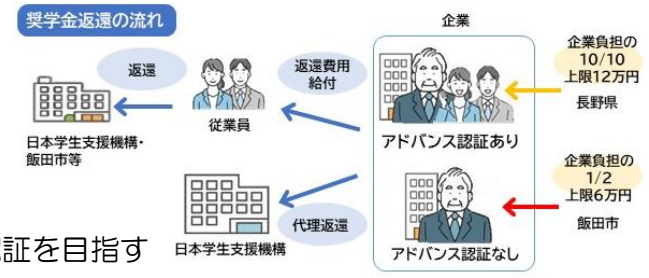
ユネスコエコパークやジオパークに登録された南アルプスを訪れる登山客は年々増加しています。

三遠南信自動車道の開通を見据え、登山口への流入車両抑制による脱炭素化への取り組み（エコ登山推進）や登山者の安全安心を確保するため、南アルプス登山口までの二次交通（登山バス）の運行構築に向けた調査、研究を行います。

（遠山郷観光振興室【内4415】）

６　【新規】地域産業を支える人材の確保に向けた取組　６０万円

従業員の奨学金返還を肩代わりする市内事業者に対して、返還費用の一部を補助することにより、地域産業を支える若者の人材確保を目指します。



＜主な対象要件＞

- 市内の事業所
- 社内規定等で支援制度を設定
- 入社後２年以内の飯田下伊那在住の従業員
- 長野県「職場いきいきアドバンスカンパニー」認証を目指す

（産業振興課【内3510】）

７　【拡充】多様な働き方の実現に向けた取組（自営型テレワーカー養成講座）　１，２２３万円

子育てや介護などの理由で一時的に職を離れた女性が、テレワーカーとして必要な能力やデジタルスキルを学び、就業するまでを支援するセミナーを開催します。

（産業振興課【内3510】）

4 飯田で育ってよかった・育ててよかったと実感できるまちづくり

1 【新規・拡充】こどもの居場所づくり 3億9，601万円

こどもが使用する施設への空調設備の整備などのこどもの居場所づくりに取り組み、こどもや子育て世代の皆さんの視点から安全・安心な環境を整備します。

【新規・拡充】安全・安心な居場所の整備 4,981万円

雨の日や猛暑等の気候変動に対応するため、放課後児童クラブの体育室やかざこし子どもの森公園等に空調設備を整備し、こどもの居場所づくりのための環境改善に取り組みます。

（学校教育課【内3715】・維持管理課【内2730】）

【拡充】地域こどもの生活支援事業 659万円

多様かつ複合的な困難を抱えるこどもたちに対し、安全安心で気軽に立ち寄ることができる食事等の提供場所を拡充します。

（こども課【内5346】）

【拡充】夏休み期間中の小学生預かり事業 52万円

夏休み期間中、保護者の就労等により、平日の昼間に児童クラブ等を利用しない小学生を対象に、こどもの居場所として預かり事業を実施する民間保育所等の支援を行います。

（保育家庭課【内5730】）

【拡充】放課後児童クラブ等の児童受け入れ態勢の充実 3億3,909万円

保護者が仕事等により昼間家庭にいない小学生の居場所を確保するため、放課後児童クラブ等の児童受け入れ態勢の充実を図ります。

- 令和７年４月に開設する新上郷児童クラブ等の児童受け入れ拡大等のため、放課後児童クラブに配置する支援員等を増員します。
- 放課後児童健全育成事業交付金により民間事業者が運営する放課後児童クラブの運営を支援します。
- 子ども・子育て支援整備交付金により民間事業者が計画する放課後児童クラブの施設整備を支援します。

（学校教育課【内3715】）

【拡充】こども若者に関する情報発信の強化

これまで、夏休み期間中のこどもの居場所・体験活動などをカレンダー方式でお知らしていますが、こども若者に関連するイベントや居場所などについて、通年でお知らせできるようにします。

（こども課【内5346】）

2 【拡充】産前産後サポートの拡充 879万円

家事育児支援事業の対象期間を、妊娠中からこどもの年齢が１歳になる前までに延長します。また、助産師による心身のケアや授乳や育児の相談支援が受けられる産後ケア事業（宿泊型）と授乳・育児相談助成事業について、里帰り先での利用を一部可能とします。

また、女性ホルモンの急激な増加により口腔内環境の変化が起こりやすく、むし歯や歯周病になりやすい妊婦さんに対し、歯周病予防のための歯科健診の助成を行います。

（保健課【内5510】）